

消防団の活動

消防団の活動は、平常時は火災予防の広報活動、消火栓・防火水槽の点検や防災訓練時の地域住民への消火訓練指導、夏祭り会場警備や、有事に備えての操法訓練など、地域の安全・安心を守る活動をしています。

また、災害発生時には、消火活動や救助・救出活動、避難誘導などを行います。このように消防団には、地域防災力の要として、消防署などと協力して市民の生命・財産を守る役割が求められています。

災害現場は常に危険と隣り合わせです。団員たちが我が身の危険をかえりみず消火活動や救出活動ができるのは、「自分たちの地域は自らが守る」という郷土愛護の精神を胸に、日頃の厳しい訓練に耐え、地域の安全と安心のために活動しているからです。

災害現場で冷静に活動できるように、そして1秒でも早く火災現場へ水を送りたい、その思いを実現するために日頃から各分団放水訓練を繰り返し実施し、技術の向上に努めています。

▲統率のとれた整列を見せる団員



分団旗と共に受け継ぐ思い

消防団は「訓練が厳しい」「上下関係が厳しい」といったイメージが強く、年々団員の確保が難しくなっています。確かに消防団活動は楽ではありません。災害発生時には自分、そして家庭の安全が確認できたなら現場に駆けつけなければなりません。

それでも多くの団員たちが、自らが住む地域のために、「そこに住む人たちを家族と同じように守りたい」「誰かがやらないなら俺がやる」という気持ちをいだきながら入団しています。

御前崎市消防団は、これまで諸先輩方が必死に守ってきた

消防本部・消防署の業務

消防本部の組織は、常勤の消防総務課、警防課、予防課の3つの課と3交代制で勤務する消防署に分かれます。

消防総務課は、消防サービスの要である消防職員の総合的管理と消防機械装備全般の導入計画を業務としています。警防課は、管内の各施設への消防訓練などの指導を業務としています。

予防課は、消防の根幹である火災などの災害予防を推進しています。

消防署は、火災の鎮圧や、多種多様な救助事案への迅速な対応と、年々増加傾向にある救急車の要請に対する対応です。特に高度な救命処置を必要とする現場では救急救命士が活躍しています。

このように、「安全なまち『御前崎』」をモットーとして消防サービスを提供することが使命であると考えています。これまで近隣市と共同運用してきた消防本部・消防署ですが、今年度から御前崎市単独での体制へと移行しました。長年積み上げてきた経験とベテラン職員の知識・技術を

▲素早く要救助者を縛着する



若い世代へ伝承教育を実施するとともに、新しい知識技術の習得にも積極的な研修を行うことで消防本部・消防署が一丸となり、消防の果たすべき任務を消防団や関係機関と協力しながら取り組んでいます。

事案早期収束のために

平成24年4月から御前崎市内から発信された119番通報は、中東遠消防指令センター（磐田市福田）で受信しています。

これは、近隣消防機関との連携強化と広域災害・大規模災害への効果的な対応をコンセプトに中東遠地域の5市1町が共同運用しています。的確な災害情報の収集や消